

# 職業と教育

中央教育復興会議内  
職業教育研究会編集

## 第二號 目次

- 職業科の正しいあり方(主張)……………(2)  
就職したばかりの中学卒業生  
に聴く(座談会)……………(3)  
座談会から問題を探究する  
……………対談・杉山一人・清原道壽(7)  
文部省通牒・教育刷新審議会の建議…………(10)  
職業科文庫新刊二冊の紹介……………(11)  
夏季実習の指導記録……………登坂 一雄(12)  
今昔夜話・会員募集・規約・ワクの中から





## 主張

# 職業科の正しいあり方

— 文部省の通牒に関連して —

学習指導要領一般篇の一部改正について文部省から通牒がでたが、これによつて職業科のあり方が一顧はつきりするようになった。今まで職業科は農・工・商・水産などとバラバラになつていて、かつての「実業科」と混乱されがちであつたが、そのような分科をやめて職業科一本にまとまり、その内容としては職業科についてのインフオーメーションとトライ・アウトを取りあげることが決定した。そしてこの線に沿つて、現在職業科の新しいコース・オブ・スタディーの編集が進行しつつあるといわれる。

しかし職業科でインフオーメーションとトライ・アウトをどう取りあげるかについては、いろいろの主張がある。今までも職業科の実習はトライ・アウトであるといわれながら、文部省の一部には「実業科」的な考え方の牢固たる者もあり、農村では農業の実習をえやつていけば、それに関連する職業にふれられるので職業科の目標は達し得るし、それこそ「地域に即した」教育だと主張して「実業科的農業」の温存に狂奔した。しかも彼等は実際にやつてみなければ職業科でいう仕事についての適不適の自覚はできないから、インフオーメーションは職業科ではない、それは社会科でやればよいと主張した。実際にやつてみて自己の適性を自覚しても、現在の社会ではその職業にすぐにつけるものではないし、更に職場の現実をよく理解していなくては就職してもよき職業人とはなれない。どの職業に進むかわからない生徒たちが重要な各種の職業についてのインフオーメーションを持つことは、職業科の目標から當然のことである。これを社会科にゆずるとしても、現在の中学校の社会科の内容が経済生活、職業生活を中心とするものとなるか、それともカリキュラムが社会科職業科を一つのものとならない限り、職業科でインフオーメーションが不必要とする論は誤である。

このような主張者たちも今度の改正で職業科にインフオーメーションを入れることを認めたが、これをどう取りあげるかについては、地域でやれるトライ・アウトを中心に、それに関連するインフオーメーションを取りあげたらよいと主張している。このようなインフオーメーションの與え方は、長野や福島の山の子が東京の造船所に就職している現実を見れば、真に「地域に即した」教育でないことが明瞭であろう。インフオーメーションを一つの體系として取りあげ、トライ・アウトは各地域毎に最大限の職種について行うことが、現段階では職業科の正しいあり方であると思う。

# 就職したばかりの

# 中學卒業生に聴く

雨宮 今日、は、せつかくの日曜を御苦勞様です。私たちは中學校で職業科を受持つてゐるものですが、中學生が卒業した後に本當に役にたつ職業科教育は、どうしなければならぬとかを研究するために 職業教育研究会をつくつています。

今日は今年中學校を卒業して就職したみなさんを集つていただいて、いろいろな感想をありのままに發表していただき、それを私たちの機關誌「職業と教育」にのせて、全國の職業科の先生方の参考に使いたいと思います。司会には、現在職業科の學習指導要領といつて、教師用書の編集委員をしていただける、杉山先生にお願いします。

## 今の仕事を選んだ理由

杉山 今の職業についた動機について、ありのままのことを正直に發表して下さい。

阿武 ぼくは先生の紹介でいきました。夏季実習で今の職場にいき、その仕事に興味をもちました。この仕事は、將來性もあると思ひましたので、卒業したら、ここで働きたいと思ひ、先生におたのみしたのです。

一之瀬 ぼくは、実習では、職工の大人しかいない小さな鐵工所へ行きました。ここで一、月間の実習は非常な重労働であつた。ぼくは卒業後、晝間働いて、夜間工業に行きたいと思つていました。工場の現場では労働がひどく夜学に行くのに無理と思ひましたので工場に關係ある研究所のようなところを希望し、先生の紹介でベークライト工場の研究所に就任し、向島工業の夜学にはいりました。

町田 ぼくは実習では、イモノ工場にいき毎日相当にあおられてまつ黒になりました。まつ黒になるのが嫌で、工場でもまつ黒にならないような機械工業を希望し、兄の紹介で

### 出席者

精工會 町田 貞夫

石川島重工業 臺 豊治

同 松村 佳和

丸和 證券 中村きみ子

日本ベークライ ト 一之瀬 信雄

鐘紡東京研究所 阿武 義三郎

東京都教育廳主事 杉山 一人

目黒區立六中教諭 高薄 重夫

墨田區寺島一中教諭 登坂 一雄

職業教育研究会 雨宮 茂

精工舎にはいりました。

臺 ぼくは旧制中学を二年でやめ、小さな造船所に入りましたが、毎日土方のような重労働なのでやめ、今年の春、兄さんと相談して石川島重工業に受験して入り、現在寮にいます。

松村 卒業間ぎわまでどこに就職するか考えていなかつたのです。ただ家が貧しいので学校には進めないから、どこかに就職したいと思つていました。先生から君は理科方面が得意だから、重工業方面に入つたらといわれその氣になりました。それに石川島では働きながら工場の学校で勉強ができるというので、ここにきめ、入社試験の結果入ることができました。

中村 受持の先生のすすめで、日鉄の交換手を希望しました。五名の募集に対して六〇名の希望者がきて、第一回の試験には通りましたが、第二回目に落ちました。つきには郵便局や東京インクをすすめられましたが、氣がすすまず、父の友人の手ずるで今の仕事につきました。

### 就職前の職場の研究は

杉高 ではみなさんは、その職場がどんな

仕事をやつているか、中のようすを知つて入つたのですか。

阿武 ぼくは実習に行つたところに就職したので知つていました。

町田 ぼくは知りませんでした。

臺 ぼくは一カ月半ばかり、小さな造船所にいたので大体知つていた。ただ寮の生活ははじめてです。

一之瀬 知りませんでした。採用が決定してから始めて見学しました。

松村 中村、知りませんでした。

杉山 はいる前に考えていたことと違つた點がありますか。考えていたことよりもよい點だとか悪い點を話して下さい。

阿武 入社したらすぐ研究室に入れてもらえると思つていたら、一カ月ほど雑役ばかりさせられて驚きました。その後ぼくは研究室にまわされたが、一しよに入つた友達は工場へまわされたので不満のようです。

一之瀬 学校時代に社会は荒波だと聞いていましたので、なまやさしくはないと思つていた。入社してみても上の人たちがわりに親切に迎えてくれたので、第一印象はよかつた。

仕事は始からクレゾールやフォルマリンなど使つて色々の実験をしています。例えばべ

イクライトに使うクレゾールが入荷すると、その品質の試験などをしていきます。

高薄 一人前の仕事をしているわけですね。

一之瀬 はい。

町田 仕上げがよいと思つて入つたが、会社の都合で齒齧りにまわされました。自分の考へていた仕上げにいけなかつたことは不満でした。

高薄 どうして仕上げがよいと思つたのですか。

町田 兄さんが仕上げがよいと言つたものから。

臺 故郷から出てくるときは、工場の学校に期待をもつてきたが、まず学校の汚いのがつかりました。しかし勉強は高等学校と同じだし、課長などにも養成工出身がいるとことでは、はりきつていつています。実習は思つたよりはげしく手から血を出すことなどしばしばです。それから、はじめての寄宿舎生活だから、最初の間は色々の点で困りました。今はなれました。

ただ食料のたらないことだけは、今でもそうです。

登坂 台君、寄宿舎のことをもう少しくわ

しく話したら？

臺 四月八日に寮に入りました。部屋のものともすぐになれました。この寮には一年から三年までの養成工だけが住んでいて、一室に五人ずついます。一日の生活時間は、朝五時二十分に起床し、六時五分に寮を出ます。

高薄 ばかに早いね。

臺 寮が千葉縣の入厩にありますので、工場まで一時間半以上かかります。帰りは五時半で六時に夕食、寝るのは九時ですが、話などしているうちに十時頃になります。帰ってから寝るまでも洗たくやつくろいものなどをしているし勉強もできません。

杉山 給料はどれ位ですか。それでしたりですか。

臺 月に大体三千円ですが、そのうち九百円が食費で配給品その他に千円位残り、残り千円が小遣ですが、腹がへりますので食料を買いますので足りません。

杉山 食堂では献立などに寮生の自治会などが関係していますか。

臺 関係していません。

杉山 松村君はどうですか。

松村 工場の仕事はつらいだろうと思つていますが、まだ学校で基礎教育を、やつてい

て現場に配属されていません。七月には現場に配属されますので、そうしたつらいだろうと思つています。

杉山 中村さんは？

中村 社会に出ることは不安だったが、仕事についてみて余り困つたことも起りませんでした。今一番年下ですから、毎朝掃除や茶をくんだり、雑役をしています。

登坂 何か養成所のようなものがありますか。

中村 ありません。

### 職場で役立つ學科

杉山 職場ではどんな學科の勉強が役立ちますか。また学校でこういう勉強をもう少しやつてもらいたがつたという點はありませんか。

町田 職業科の工業の時間に歯車などについて勉強したことが役立ちます。それから三年になつたら希望する職場毎にグループに分けて、その工程を研究するようにしたらよいと思ひます。

臺 数学や製図をうんとやつてもらいたいと思ひます。それにほくは旧制の中学だったので職業科をやらす、社会科だけでしたので

フライス盤、旋盤などの機械の名前さえ知りませんでした。

中村 私たちは三年の時、職業科では女は家庭をやり、男は商業と簿記、珠算をやりました。それで女は珠算など一度もやりませんでした。事務方面につとめるものには、珠算をやつてもらいたいと思ひます。

高薄 では家庭科をどう思ひます。

中村 家庭科も職業科も両方必要です。

雨宮 今やつているような家庭科は、家でやつて、学校では就職に必要なことを優先的にやるようにすべきでしょう。

松村 ほくの学校では商業だけだったし、ほくも珠算塾に通つたりしていました。工業があつて、もう少し機械のことなど勉強していたらと思ひます。

杉山 これからの職業科では工業だ商業だとわけてしまつて、やつてはいけないようになります。事務的職業も機械も電気も色々な仕事をやつてみて、自分の將來の仕事どきめるよりどこにするようになります。

登坂 そのほかにもうありませんか。

臺 製図の中にする工業英語が讀める程度の力がほしいと思ひます。

阿武 工業の時間に機械のことを勉強した

が、それらを実際に見なかつた。学校で本の上だけでなく、見字し、できれば取扱い方法と勉強していればと思ひます。

**高瀬** もう少し実社会のこと、例えば、労働組合のこととか、職場の雰囲気とか、しきりなどについて、ありのままに教えてもらつていたらということはありませんか。

**藤** ぼくの学校など、労働組合のことなどおくびにも教えなかつた。それで始めて組合の大会に行つて、何してよいかわからないし投票などの場合にもどうしてよいかわからなかつた。学校の社会科は社会の現実を知らせてくれなかつた。

**杉山** 現実の社会をありのままに教えてもらいたかつたということですね。

### 學校とのれんらく

**杉山** 卒業後學校との連絡をしていますか。昔は上級學校に進んだものと就職したものと卒業後あまり仲が好くなかつたが、そんな點はどうですか。

**藤** ぼくは時々先生に手紙を出します。

**松村** まだ先生には会つたことはありませんが、友達には会います。上級學校に入つたものにも会いますが、その人たちと話しても

働く者のなやみなどわからないので自然、話がなくなつてます。

**中村** 先生のところに行きたいが、休日か日曜でなし、その日は學校も休みですから、學校に行つても先生に会えない。學校でみんなが一しよに会う機会をつくつていただきたいと思ひます。

### 夏季實習については

**杉山** 夏季實習は役立つたと思ひますか。

**一之瀬** 實習は役にたつたと思ひます。ぼくは實習に行つたところと、現在の仕事とは違つていますが、實習一カ月の間に働くことの苦しさがわかつていたから、現在の仕事が苦しくても落つていて働けます。

**登坂** 君たちの父さんや母さんの立場からすると、實習では金の多いところがよいと思ふだろうが、職場側では實習生を入れても余り利益があがらないといつて、金が出せないところがあると思ふ。君たちは實習では金を目的とするか、それとも働くことを目的としますか。

**町田** ぼくは學校の授業の一部として考える方がよいと思ひます。働く経験を得ることがよいと思ひます。

**松村** 學校としては實習をやらなかつたがぼくは製鐵所に働きにいつた。そこで色々機械を見学できたし、重い感をもつことによつて、働く苦しさを経験したためになつたと思ひます。

**杉山** 就職前に實際の仕事を経験した方がよいとの結論のようですな。

**高瀬** 實習に行つた人は、その職場に行きたがらないとよく言われるが、諸君はそれについてどう思ひますか。

**一之瀬** 一カ月位だから工場のよい点が見えないで、悪い点だけが目だつたためだと思ひます。

### 餘暇の利用

**杉山** 諸君は余暇をどう利用していますか。  
**一之瀬** 暇のある時は英語の勉強をしています。

**阿武** 研究所ですから娯樂施設が少いので晝休みに化学方面の勉強をしています。

**藤** 晝休みに野球などをやります。図書室の本は余り利用されていません。それから私たちが一年の養成工だけで雑誌をだしています。

**登坂** コーラスなどあります。

町田 ありません。

藁 ぼくのところは組合の文化部でやつて  
います。それから色々のサークルがあります。

登坂 君は何かやつていますか。

藁 ぼくは短歌のサークルにいます。

高薄 どんなものを、読んでいますか。

藁 養成工では地方からきたものはまだ少

年小説などを読んでいますが、都会のものは  
相当有名な文学者のものを読んでいます。

一之瀨 図書室によい本がありません。鳴

戸秘帖とか、講談のようなものばかりで、あ  
まり読む気になりません。

高薄 映画など見ますか。

中村 私は夜学に行つてるので見る暇が  
ありません。

杉山 今の仕事の時間で、夜学に間にあ  
いますか。

一之瀨 ぼくは學校が近いので、漸く間に  
あいます。

中村 夜学が五時二十分に始りますので、  
仕事を早くきりあげて行かないと間にあいま  
せん。皆がまだいそがしそうに働いている時  
に、お先に失礼しますといつて帰るのが嫌な  
ものですから、自然に學校にも遅れるようにな  
ります。

(おはり)

## 今後の問題を中心として職業教育の座談會の發言

# 今後の問題を探究する

對談

東京都教育廳主事

杉山一人

東京都目黒區六中教諭

清原道壽

職業科は理解されてい  
ない

清原 この前の座談會の記録を讀ん  
でみますと、中学校教育について色々  
の問題が沢山含まれていると思いま  
す。それについて御意見をおうかがい  
したいのですが。

杉山 ぼくの方から實際家の君に尋  
ねたいことが沢山あります。最初に、  
職場を選んだ理由にはつきりした立場  
の者が少い。一口に言うとは殆んどが外  
部の意見によつて就職している。これ  
では中学校の職業科教育はその目的を  
達していないように思うのですが、ど  
うですか。

清原 確かにそうです。中学校ではまだ職  
業科の目的が十分に理解されていないで、か  
つての「実業科」と同じように考へていると  
ころが多い。職業科など全く無視している学  
校もある。それで中学校の教育によつて生徒  
は自己の進路を選択する能力を得ることがで  
きないので。

杉山 職につく前に職場の仕事を知らない  
で、就職した者が多いようですね。こんなと  
ころに轉職の一つの原因があると思います  
が、そのような指導については、中学學ではど  
うですか。

清原 やはり職業科を「実業科」的に取扱  
い單なる実技訓練に終始して、そのため  
各種の職業についてのインフォメーションや  
職場の調査見學など余り熱心に指導されてい

ないのです。その責任の一半は現在の職業科の学習指導要領が農・工・商・水産といった工合に分科しているところにあると思います。現在進行中の職業科の学習指導要領は職業科一本になるとのことですが、どのような方向に進むでしょうか。

### 職業科学習指導要領の方向

杉山 現在編集委員の中にも二つの見解があります。一つはトライ・アウトを中心にそれに関連してインフォメーションをつけていくという考え方と、一つは職業には色々の種類があるのでインフォメーションとして一つの體系をつくり、地域地域によつてトライアウトを取捨選択していこうという方向です、今のところどういふ風になるかはわからないが、トライ・アウト中心の考え方は、その地域で行うトライ・アウトと関連ある限りのインフォメーションは取りあげられても、全體的な各種の職業についての理解ができないので第二の見解がよいという考え方が強いのではないかと思います。

斎原 ぼくもその考え方に賛成です。例えば京浜の製鉄所では主として東北出身者を採用していましたが、その生徒たちが第一の考

え方のように地域に即したトライ・アウト中心にやつていけば製鉄所についての何等のインフォメーションなしに就職することになる。このような生徒にはやはり製鉄所で働く人々の現実の姿をインフォメーションとして考えることが必要と思います。

### 職場の現実をありのままに

杉山 現在の職業科ではインフォメーションとして子供たちにありのままの姿を知らせる教育をしていますか。例えば工場に残っている封建性とか労働条件、労働組合などの現実を知らせていますか。

斎原 「職業指導」の教科書をはじめ、社会科など、すべて職場のことになると現実が美化されています。特に災害とか組合のことなど意識的にか無意識的かは知りませんが、ふれまいとする傾向です。教師の中にも、職場の現実を知らせると、生徒がその職場に働きにくいことを嫌がるから、職場を美化して夢をもたせたがよいと考えている者もいます。これは間違っていると思います。中学校生徒の心理的段階から言つても、生徒たちが職場の現実を知り、その困難な状態の中で職場人が生産復興のために如何に闘つているか

を知ることによつて、自分も将来その改革の先頭に立とうという少年的な英雄心をかりたてるように指導すべきだと思ひます。でなくて、職場の美化によつて生れた観念的な勤勞のよるこびでは職場の現実にはぶつかると忽ちにして消え勤勞意慾をなくするだけです。

杉山 そういふ立場で「職業科文庫」は編集されているわけですね。

斎原 そうです。なかなか思うようにはいきませんが、編集の根本的態度はそこあります。

### カリキュラムと教科書のあり方

記録によると中学校教育の内容に可成り手ひどい批判がでていますね。例えば現在の社会科では現実を知らしめてくれないとか、労働組合のことなどおくびにも出さなかつたとか、英語や家庭科の問題などいろいろあります。

ぼくは中学校のカリキュラムは、職業科をコアとし、それに他教科を関連さすべきだと思ひます。

杉山 現在の学習指導要領は各科バラバラでセクト的に作られていたが、現在進行中の



各学習指導要領では全体として関連をもつように編集されつつあるようですから、その点にいま解決されるでしょう。しかしそれを取扱う教師の態度や学校経営の方向が問題と違う。新制中学校の生徒は卒業後進学就職いずれにしても、いずれは職業人になるのだから、各教科とも職業人になるに必要な教科であるという観点から、教科の指導も学校経営も行われなければならないと思います。従つてどうしても職業科が中心になるのです。

澤原 根本的にはあなたのいわれたことに賛成です。とにかく現在でている教科書はひどいものですね。今春出た中学校の数学の教科書など、職業科の立場から見るとひどいものです。数学は社会生活職業生活のための道具的な教科ですが、この教科書はその道具としての役目をはたし得ないと思われます。ただ中学生の学力が低下しているから、程度を下げたにすぎなくて、将来の職業生活の最低必要量を無視しています。中学校卒業後就職する生徒はどの職業につくかわからないから義務教育終了者のつく職業で、最も高く数学を必要とするものの最低必要量を基準に数学の教材を選ばなければなりません。ところがそんなことは全く考えられていないと思

われない。更に道具的教科の数学で家庭や社会と同じような研究をしているが、もし学習指導要領の間の関連ということがこのような意味であつたなら、今までより逆行するものでさえある。それから中学校の社会科の内容は経済生活職業生活を中心に單元を整理する必要がある。例えば「文化遺産」の研究だといつては「文学の発達史」とか「宗教の発生」とかいつた研究題目によつて、図書館の本をわからないままに引き写して発表している生徒の姿は、社会科教育の笑えない現状の一端なのです。

杉山 教科書にはそんなものがありますか。それに中学校の社会科の指導には現実の社会に眼をつぶつた指導が多いようですね。君の言うように経済生活職業生活を中心に單元が編成されると、どうしても社会の現実ととつてむから、そんな大学生の卒業論文みたいな社会科でなくなりますね。

### 夏季實習の問題點

杉山 最後に夏季實習についてですが、實習は体験としてはよかつたが、實習した工場には就職する者が少いという点について意見はありませんか。

澤原 体験としてよかつたという子供のあがる理由をみると、實習の体験が働くことの苦しいことを知つていたから、現在の職場の苦しさもがまんできると言つていゝのです。これは實習の目的からいへば問題点だと思ひます。實習した工場に行かない理由には、實習工場が教育の場として余りにひどいところが多いために起るのだと思ひます。教育的指導のよかつた鐘紡研究所に實習に行つた生徒がそこに進んで希望しているのはよい例と思ひます。今後の校外實習をさかんにするには、職場の利潤と教育を如何にむすびつけるか、生産をあげながらしかも教育的な實習教科課程が、学校・職場・学者の協力によつてつくられねばならないと思ひます。

### むすび

では中学校職業科教育として当面の問題は何でしょうか。最後のしめくりとしてお願ひします。

杉山 教師が職業科の本質をよく理解すること次に職業科教員の養成が緊急に必要なこと、社会一般が中学校の職業科教育と「実業科」と違うことを十分に理解することなどだと思ひます。

# 文部省通牒（發字二六一）

## 學習指導要領

### 一般篇の改訂（1937）

#### 職業科及び家庭科について

1、必修教科としての職業科は特定の職業についての専門的な知識や技術の教育を授けるものではなく、全生徒に必要な各種の職業についての基礎的な知識技能の啓発を主眼とすること、

2、職業科は職業指導と相俟つて生徒個々の興味適性能力の發達を促し、生徒が將來の進路を適切に選択する能力を啓発するとともに、生徒の必要と社会の要請にこたえ得るよう計画すること、中学校をもつて正規の教育を終らうとする生徒には職業を得るのに有用な知識と技能を與えよがよい。

4、家庭科における實習は、職業科における啓発的經驗としてみなされる。

5、職業科における啓発的經驗（トライ・アウト）及び家庭科における實習として、およそ左の如き分野を例示することができる。

- イ、栽培・飼育・漁
- ロ、食品加工
- ハ、事務
- ニ、製圖
- ホ、機械操作
- ヘ、手技工作
- ト、調理
- チ、保健衛生
- リ、その他

なおこれらの学習に際しては三年間に少くとも三分野以上の啓発的經驗を実施し、一つの分野については一年以上に亘ることは望ましくない。

7、職業科及び家庭科は男生徒及び女生徒がその一方のみを学習すべきものでなく男女いずれの生徒にも適切と思ふ單元については両者に学習せしむべきである。

#### 職業教育についての

#### 教育刷新審議會の建議

（六・一〇）

(1) 新制中学校では、普通教育を偏重せず職業指導を徹底する。

(2) 新制高校でも職業教育に重点をおく。単独校や一—二年の専攻科をおく、又企業経営との共同教育組織、委託学生制度、特別講座などを設ける。

(3) 定時制高校を沢山設け労働者と協力して技能者養成につとめる。

前記の文部省通牒の啓発的經驗（トライ・アウト）に最も合致した職業科学習書

#### 圖解職業科實習書

（上・下）

（内容見本申込次第呈上）——職業教育研究会

X X X

## 今夜話

▽日本に職業教育が叫ばれ出したのは、確か昭和三年頃だつたと思ふ。文部省の木村実業教育局長が得意の弁舌をふるつて、現在の教育はあまりに役に立たない、と教育の実業化を説いたものだ。

▽あたかも一九二九年のアメリカを中心とする世界恐慌の時だつた。それがついに戦争という、あばれんぼうに禍されて、教育もひんまげられてしまつた。

▽ところが戦争がすむと、又も昔に逆もどり、あの頃の幼稚な、職業教育がくりかえされるのでは、あまりに時代錯誤である。その頃とは、日本の地位も、経済的地ばんも、そして國民の考え方も一変している。

▽その頃職業教育といえは、心理学的研究のテキストなどをくりかえし、美化された使用人側の職業指導にすぎなかつた。

▽今日では、じょうだんに、美化されるなどの面は見出せない。苦しい悪い條件を一步步々克服して「建設」する時代である。それだけの歴史的な相異を見ないでは、またまた観念論的な職業教育になる。

▽この頃日本で流行のコアだの、ガイダンスなどは、アメリカでは、前記の大恐慌の時出現したものだが、そのうけ賣りを今頃しているのでは情い。（Y生）

# 職業科文庫

新刊された二冊の概要

☆ 新聞をつくる人たち (八〇四)

☆ 製鐵所に働く人たち (八〇四)

既刊 船をつくる人たち (八〇四)

既刊 着物をつくる人たち (八〇四)

別冊 図解職業科実習書 (各九〇頁) 上・下

非常な期待をもたれて、発刊と同時に大好評を博している。本研究會編集の「職業科文庫」は、その後着々編集が進められていくが、今回新しく「新聞」と「製鐵」の二冊が新刊された。先の「船」と「着物」以上に、面白く充実した内容である。目下他の原稿も次々と研究が進められており、今後はもつとスピードを加えて刊行されるはずである。

さて「新聞をつくる人たち」であるが、某大新聞社の現場記者の手になる資料を、研究会で更に検討を加え、構想と表現に色々工夫をこらしている。執筆は池田種生氏である。

照子さんのお父さんである川口さんは、新聞社につとめている。その町の中学校の照子さんの組では、新聞をだす計画だて、五人の新聞委員が選ばれた。ある日、中村先生につれられて、川口さんのお宅をたずね、新聞はどうしてできたか、その歴史、ニューハのとり方、新聞記者と職業といったことについて、話をしてもらう。そしてある日、その新聞社を見学する。編集、印刷、業務について、

五人の新聞委員がその見学記をまとめ、新聞ができるまでの工程と働いている人たちを委しくまとめ、それについて、学校で質問をして行く。その間、たえず川口さんが助言をし、中村先生が適当に指導して行く。

こうして、生きた新聞社の動きと、生徒の興味とを結びつけ、將來この方面に働こうとする者への意欲を高めるだけではなく「社会科」の学習にも、非常によき参考書となつていく。

次は「製鐵所に働く人たち」のあらすじを紹介する。

これは、工場地帯である、神奈川県川崎市の某製鐵工場を中心に重要産業の一つである製鐵の作業内容と、そこに働くについての予備知識がおりこまれていく。中学校を出てこの工場に入った少年工が、後輩にかきおくる手紙の形式で、第九信までの間に、製鐵工場が手にとるように描かれている。殊に、参考資料として、産業としての製鐵の重要な見方、最新の資料など、生徒の学習に益するものが豊富である。執筆は大内昌雄氏である。

以上はごく簡単な紹介であるが、本文庫は他に類のない「將來どの方面かに働く生徒」を目標にかかれた社会科職業科に併用されるもので、さしえが豊富に入れてあり、統計のよみ方を教えている点も特色であるといえる。

全部で五十二巻、ほとんど全部の職業がもうらされ、描きあげたし偉編であろうと思われる。だから購讀申込は、随意に選択されてもよいが、全巻を申込んでおかれると便利であろう。

(職業教育研究会でも取扱う)

# 夏季實習の

## 指導記録

登坂 一雄

はしがき

これは当校の昨年夏の校外實習の記録である。

職業科教育の一部分として正課に準じて全生徒を実習に参加させたかったが、社会情勢から受入れ職場の開拓が困難なため、生徒の希望調査によつて就職するものだけを対象とすることにした。そして彼等の希望する職業が実習できるようにと努力した。

### 實習前の準備と指導

- (1) 安定所と連絡して受入れ職場を開拓する。
- (2) 受入れ職場の仕事の内容、施設、労働条件通勤のための地理的關係などについて調査し職場一覽表を作り、各職場の概観について生徒に指導する。
- (3) 中学校生徒の夏季實習については、教育局

と労働基準局の間の次のような決定による。

- (1) 学校の指導の下に教科目の一として実務に参加する場合は労働基準法の労働者と認めない。
- (2) 学校と連絡なく、生徒が個人的に休暇を利用して労働する場合は労働者とする。
- (3) 第二の場合は、工場においては年令証明書及び使用許可証明書を備えつけることを要する。第一の場合は不要

(4) 報酬の額は当事者間の取極めによることとするも、第一の場合はなるべく学校の教育上の必要資料を購入するように指導すること。第二の場合は使用者は当該事業場の類似同程度の労働者の賃金を各個人に支拂うこと。

(5) この道牒に基き、安定所から割当てられた職場及び学校で開拓した職場側から集つてもらつて懇談会を開き、中学校における職業實習の意義を理解してもらふ。實習期間は職場側との懇談の結果一カ月間とする。

(6) 實習前の父兄懇談会を開き實習が職業科教育の重要な一方法であることを徹底させ、実習工場の一覽表の説明、毎日実習日誌を見て実習中の生徒の生活時間の指導をすることな

どを懇談する。

- (7) 實習日誌を作製する。記述する事項は  
(1) 作業時間と休み時間 (2) 作業の内容と成績 (3) 疲労の程度 (4) 今日の仕事で楽しかったこと嫌だつたこと (5) 起床、就寝時刻 (6) 帰宅後の生活のありさま (7) その他の感想
- (8) 当校の實習生の受け入れ職場十二、人員は男子三十二名女子十九名。

### 實習中の指導

(1) 職業科教師が中心になつて、全校行事として行い、他教科の教師も指導する。ある職場では生徒と一しよに教師も働いた。

(2) 生徒が職場におちつくまで、教師は毎日各職場を巡回して指導する。そして各職場の指導者と密接に連絡する。

(3) 職場では作業の状況などを観察して、作業の合間をみて個々に面接して身體の状況、作業の興味、苦情などをきき、悪い点は現場指導者に話して直してもらふ。生徒のわがままからきた不平に対しては十分注意して激励する

(4) 實習が終りに近づく頃から、作業になれ、氣が弛んで、ケガしたり、怠けたりするから十分な指導が大切だから、この頃には又、毎

日職場を巡回する。

(5) 実習中の休日に一回、学校に集つて実習生懇談会を開く。

(6) 受け入れ職場には次のような調査表を依頼する。

- (ア) 会社名 (イ) 所在地 (ロ) 事業内容 (ハ) 実習期間 (ニ) 勤務時間 (ヘ) 出勤日数 (ホ) 欠勤遅参 早退 (フ) 作業態度 (ヘ) 他との協同態度 (ヨ) 作業に対する身体の適否 (ヨ) 作業に対する器用さ (オ) 作業態度等について実習生個々に対する批評 (ヨ) 学校の夏季実習に対する意見 (ヨ) 学校の職業指導に対する意見 (ヨ) 実習生への総評、その他の意見 (ヨ) 当校卒業生採用の意志の有無

### 実習後の指導

(1) 実習によつて得た報酬は、会社側に話して直接本人に渡さないで全部学校に届けてもらい、学期はじめに学校長から手渡ししてもらふ  
(2) 実習生に対し次のような事項について調査し、今後の職業指導の資料とする。

- (イ) 職場に出てみて予想していた事とひどく違つていた点 (ロ) とくにつらかつた点と楽しかつた点 (ハ) 現場の人はどんな指導をしてくれたか (ニ) 現場の人たちへの注文 (ホ)

実習に出る前にどんな準備が必要か。 (ハ)

実習はどんな点が役立つかと思うか (ロ) 実習によつて、卒業後のコースは決定的となつたか (ハ) 来年度実習に出る後輩についてどんな指導が必要と思うか (ロ) 実習を体験して、学校の職業指導はどんなことを指導してくれたらよいと思うか (ヨ) 卒業後どんな職業につきたいと思うか (ヨ) 労働組合について (オ) 実習で得た報酬についての使途 (ヨ) 実習によつてどんな影響を受けたか (ヨ) 家族の人たちは実習に対してどんな考えをもつていたか。

(3) 実習生、教員、受入職場側代表と合同で、「夏期実習についての反省座談会」を開き、生徒の感想、受入れ側の感想などをきき、今後の指導の資料とする。

以上は夏季実習指導記録の要項のみの抜き書である。(東京都墨田区寺島一中)

## 職業教育研究會

### 會員募集

われわれの会は、すべて實際家の集りであ

る。文部省を背景にしたり、上からおしつけられるものではない。生きた社会の中の生徒を直接の対象として、眞の教育愛から生れる職業科をうちたてたいとの念願にもえている。廣く同志諸君の参加を求むる。次頁規約参照の上、どしどし申込んでほしい。

東京都千代田区神田 教育会館中央教復内  
職業教育研究會(振替東京七七一七六番)

### 會員の特典とお願い

▽會員は定期研究会(毎週土曜午後四時より本部で開催)に参加できる外、講習會、研究發表會に便宜を與える。

▽地方の研究会・学校の研究發表會に、本部より無料出張、又は講師派遣の便をはかり職業科教師の同志的啓發につとめるから、遠慮なく申込まれたい。

▽會員には会誌への投稿、出版活動への参加、自己研究物の刊行等について便宜をはかる。

▽職業科文庫の新刊毎に通知し、その申込に對しては特別の取扱をするから、御照會ねがいたい。

▽尙全國同志へのよびかけ、會員のかんゆうに、御盡力ねがいたい。

# 職業教育研究會規約

第一條 本会は学校並に職場における職業の

教育指導に関する研究をなすを以て  
目的とする。

第二條 前條目的達成のため左の事業を行う

- 1、職業の調査就職問題の研究。
- 2、学生生徒及び養成工への職業指導並に教育。
- 3、職業教育に関する講習会・研究会。
- 4、機関誌その他の出版。
- 5、職場見学の指導あつせん。
- 6、その他必要な事業。

第三條 本会に左の役員をおき会務を処理する。

幹事若干名（中、幹事長、副幹事長  
各一名）必要により顧問をおくこと  
を得る。

第四條 前條役員は總會において選出し任期

は一カ年とする。但し再選をさまた  
げない。幹事長、副幹事長は幹事会  
の互選とする。

第五條 毎年一回以上總會を開き事業・会計

報告をなし方針の審議をする。  
必要により臨時總會を開く。

第六條 幹事会は隨時幹事長招集し会務を遂

行し、必要により専門部を置くこと  
ができる。

第七條

本研究員たらんとするものは、住  
所氏名職業記入の上幹事会に申込み  
その承認を得る。

第八條

本会の会費は、年額二百四十円とし  
会誌の無料配布をうける外、見学そ  
の他の便宜を得る。

第九條

本会員十名以上の地区に支部を設け  
ることが出来る。

第十條

本会の経費は会費・事業収入・寄附  
等によつてまかなう。

第十一條

本研究会の事務所は当分の間東京  
都千代田区神田教育会館中央教復  
内におく。

第十二條

本規約の改正は總會の承認を要す  
る。

## 本誌第一號について

▽本誌第一号は、十六頁の片々たるものであ  
るが、赤石清人氏の「職業教育の手引」が  
反響をよんで、いろいろ照会があつた。

▽まだ少し残部があるから入用の方は送料六  
円封入本研究会宛に申込下されば、贈呈す  
る。  
(保より)

## ワクの中から

▽このせまハワクの中で、何か言おうとす  
るのだから、大分無理な話だが、サンシ  
ヨは小粒で何とか、本誌も僅か十六頁の  
小誌ながら、少しは先見の明を持つてい  
るつもり。

▽その証拠には、文部省の通牒がついこの  
間出たのに、その前に、まだどこからも  
出なかつた、トライ・アウト中心の「実  
習書」二冊を刊行している。

▽この外、この新しい線にそつて、五十冊  
の職業科文庫を毎月二冊又は三冊出して  
いる。これも雑誌の一部と考えてもらい  
たい。そのため、今人手が足りない。優  
秀な職業科研究家を求めている。

▽けれど、これは日本全国の学校がそうで  
はなからうか。それほど職業科の研究は  
時代からおくれ、職業科の先生はその日  
ぐらしが多いのではなからうか。二十年  
前の職業指導では、今更どうにもなるま  
いということを、この小さい雑誌の内容  
が示している。  
(澤集子)

昭和二十四年七月十日発行（定価二十圓）

編集兼 東京都千代田区神田（教育会館）  
発行者 中央教復内 職業教育研究会  
代表 清原道壽

發賣所 東京都千代田区神田神保町  
第一出版株式會社

中央教復内・職業教育研究會編

# 職業科文庫

全五十冊

## 總目録 (遂次刊行・順序不同)

- 1 鉱山で働く人たち
- 2 石油を掘る人たち
- 3 製鉄所で働く人たち (近刊)
- 4 電気をおこす人たち
- 5 機械をつくる人たち (近刊)
- 6 船をつくる人たち (既刊)
- 7 自動車ができるまで
- 8 自轉車ができるまで
- 9 時計と蓄音機
- 10 ラジオと放送
- 11 電球ができるまで
- 12 いものの工場
- 13 眼がねをつくる人たち
- 14 化学肥料をつくる人たち
- 15 紙をつくる人たち (近刊)
- 16 石けんをつくる人たち
- 17 くすりと化しよう品

- 18 着物が出来るまで (既刊)
- 19 皮革品をつくる人たち
- 20 樂器をつくる人たち
- 21 文具とおもちや
- 22 菓子をつくる工場
- 23 食料品をつくる人たち
- 24 印刷製本のしごと
- 25 新聞をつくる人たち
- 26 たばこをつくる人たち (近刊)
- 27 手工業の人たち
- 28 せとものどぬりもの
- 29 土木で働く人たち
- 30 家ができるまで
- 31 鉄道で働く人たち
- 32 通信業の人たち
- 33 農家の人たち (制度篇)
- 34 農家の人たち (實際篇)

- 35 果樹と牧畜のしごと
- 36 炭やきと林業
- 37 海で働く人たち (近刊)
- 38 映画をつくる人たち
- 39 銀行と保險のしごと
- 40 小賣店と百貨店 (刊近)
- 41 公務員の人たち
- 42 自由業の人たち
- 43 サービス業の人たち
- 44 職業の歴史
- 45 労働組合と失業の話
- 46 労働者の保護
- 47 賃金のはなし
- 48 働く人の健康
- 49 働く人の文化と教養
- 50 学校と職業 (進学の手引)

別冊図解職業科實習書(上、下) 既刊各九十圓

東京都千代田區神田神保町一ノ三九  
發行所 第一出版株式會社  
電話神田四五七六、二〇一七  
振替東京二三八三八番

日教組教育部・文化部・中央教復推薦

職業教育研究會編

# 職業科文庫

全50卷・別冊2卷

既刊

船をつくる人たち (價八〇円)  
着物をつくる人たち (價八〇円)  
圖解職業科實習書 (上・下各九〇円)

新刊

新聞をつくる人たち (價八〇円)

製鐵所に働く人たち (價八〇円)

機械をつくる人たち (價八〇円)

紙をつくる人たち (價八〇円)

海で働く人たち (價八〇円)

自轉車をつくる人たち (價八〇円)

以下續々刊行して行きます。各校図書室又は各學級に五組以上設付け、職業科・社会科の参考書に。さらに各生徒の副読本に御すすめ願います。

全卷御予約申込下されば刊行の都度御通知申します。

東京都千代田区神田神保町1ノ39

第一出版株式會社 (電話 神田 4579 振替 東京 23833)